

令和二年度 家庭科 2学年 年間指導計画・評価計画

1 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

- ・生活や技術への関心・意欲・態度・・・衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
- ・生活を工夫し創造する能力・・・衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。
- ・生活の技能・・・生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
- ・生活や技術についての知識・理解・・・家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3 各学年の目標

- ・食品の鮮度や表示を見て、自分で選択・購入できる
- ・自分や家族の生活を豊かにする物を考える
- ・住まい方の工夫ができる
- ・自分の消費行動を振り返り、よりよい消費生活ができる

4 指導計画・評価計画表

月	指導計画	評価規準	
		(関) 生活や技術への関心・意欲・態度 (工) 生活を工夫し創造する能力 (技) 生活の技能 (知) 生活や技術についての知識・理解	評価方法
6月	1 食生活と自立 (1) 食品の選択と保存 ・生鮮食品や加工食品の特徴と品質の見分け方を知る。 ・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ、まとめる。 ・食品添加物について理解する。 ・食品のさまざまな保存方法を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食品や加工食品の表示の意味と良否の見分け方について理解している。(知) ・食品の選択における観点について理解している。(知) ・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。(技) ・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。(工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート記述 ・口頭発表 ・小テスト ・定期考査
7月	2 衣生活と自立 (1) 布を用いた物の製作 ・ブックカバー製作を通して、生活を豊かにする物を考える。 ・製作に必要な材料・用具を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの製作過程で必要な用具が理解できる。(知) ・生活が豊かになる物を考えることができる。(工) ・ミシン縫いの流れと基本的な縫い方を理解し、操作することができる。(技) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート記述 ・作品製作 ・小テスト ・定期考査
9月	3 住生活と自立 (1) 住まいのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな住まいを知り、住まいに関心をもち、住生活をよりよくしようとしている。(関) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークノート記述

<p>1 0 月 1 1 月</p>	<p>・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方とのかかわりを考える。 (2)健康で安全な住まい ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善の方法を考える。 ・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善の方法を考える。 (3)住まいと地域 ・災害への備えの必要性がわかり、住まいや地域における工夫を考える。 ・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ、改善の方法を考える。</p>	<p>・住まいの役割や基本的な機能について理解している。(知) ・自分や家族の住空間と生活行為とのかかわりについて関心をもっている。(関) ・安全な室内環境に関心をもち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。(関) ・安全な室内環境になるよう、安全管理の方法を理解している。(知) ・健康で快適な室内環境に関心をもち、整え方や住まい方の課題に取り組もうとしている。(関) ・健康で快適な室内環境の条件を理解している。(知) ・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ、改善の方法を考える。(工)</p>	<p>・レポートの作成 ・口頭発表 ・定期考査</p>
<p>1 2 月</p>	<p>4 食生活と自立 (1)地域の食材と食文化 ・日本各地で生産される食材を知り、食文化を理解する。</p>	<p>・日本各地の食材を使用した郷土料理を理解している。(知) ・行事食や郷土料理について進んで調べることができる。(関) ・行事食や郷土料理の役割や意義を理解し、日常の生活に取り入れようとしている。(知)</p>	<p>・ワークノート記述 ・レポートの作成 ・口頭発表 ・定期考査</p>
<p>1 月 2 月 3 月</p>	<p>5 身近な消費生活と環境 (1)家庭生活と消費 ・消費生活のしくみを知る。 (2)商品の選択と購入 ・必要なものとほしいものの違いがわかる。 ・生活情報の収集や活用の仕方を理解する。 ・販売方法がわかる。 (3)よりよい消費生活のために ・契約や消費生活のトラブルについて理解する。 ・消費者を支える法律・制度・機関の必要性を理解する。 (4)環境に配慮した消費生活 ・アクリルたわしづくりを通して環境配慮を理解する。</p>	<p>・消費生活の仕組みが分かり自覚をもつ。(関) ・消費行動を振り返り、課題をもつ。(知) ・商品の購入には複数の情報を集め検討することの必要性が理解できる。(知) ・消費者を支える法律や機関の必要性を理解している。(知) ・消費者として主体的な取り組みをしようとしている。(工) ・自らできる環境への対策に主体的に取り組もうとしている。(関)</p>	<p>・ワークノート記述 ・口頭発表 ・定期考査</p>